

# 宮城野

仙台の歴史と暮らしの原風景

鈴虫壇

舟曳堀

生菓原

思案橋

スタダブル

ロシア兵

幼年学校

ヒコーキ

朝草刈り

歌枕

宮城野萩

緬羊

下駄スケート

べこが原

作場道

練兵場

草統馬

お蔵跡

松ノ木壇

グライダー

五輪地藏

潮騒

工芸指導所

総合運動場

牛乳屋

ふつて馬車

流す針掛け

螢取り

スツバツキ

泥鰯取り

スガハスリ

野球場

卸売市場

木道社

ノランバ

八幡様

渡り鳥

貨物駅

造兵廠

もとあらの里

南ノ目館跡

東街道

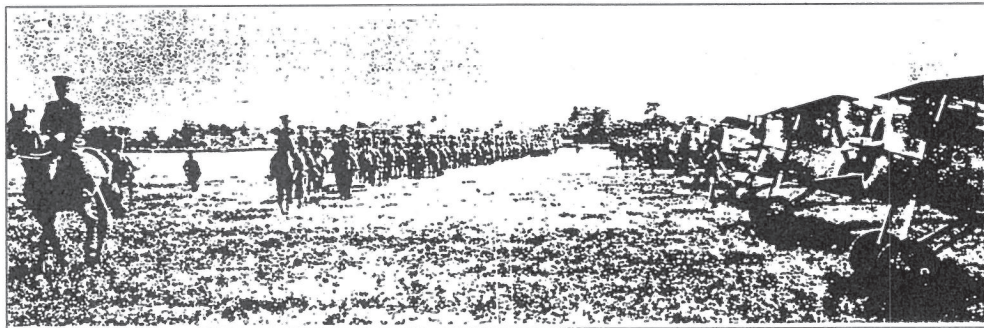
聚勝園跡

竹矢来

# 練兵場

## 陸軍特別大演習

大正14年10月19日から4日  
間、旭川第7師団・弘前第8師  
団・仙台第2師団の陸軍特別大

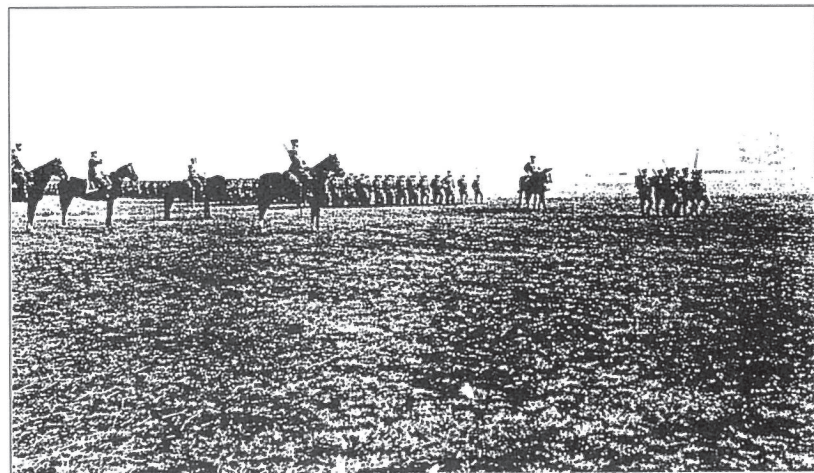


東宮さま（後の大正天皇）をお迎えしての分列式（明治41年）

演習が、南北両軍にわかれ七北田川そのほか県内各地で展開された。23日には有終の美を飾る観兵式が宮城野原で行われた。参加した航空隊の陸軍機もその威容を示した。

## 陸軍大演習の思い出

昭和の初期だったと思います。陸軍大演習が仙台平野で行われ、北軍と南軍にわかれ、今の泉区の七北田



大正14年（1925）1月8日「陸軍初観兵式」

# 銘木・古木

## 松の木壇？

宮城野原より原町に登る道路を少し行くと、一本のかっこのいい松の木があったそうで、それからの宮城野原の眺めは、格別なものだったそう……。わざわざ月見をするので城より見に来ていたとも言われていた。後に、権力争いの際に「丑三まいり」といって夜中に薬人形を松の木に釘打ちし、呪ったとのこと。その松の木を倒した後、釘がたくさん出てきた。この話が松の木壇なのかはわかりませんが……。(板橋しんさんの話) ※誰かこの話をご存知の方いらっしゃいますか？

## 松ノ木壇

松ノ木壇は、今の国鉄アパートの前で、元は永嶺さんの屋敷



南ノ目館跡の杉木立

## 杉の木

地で松の巨木1本がそびえ、遠く荒浜方面まで眺められる所でしたネ。(守合きよしさんの話)

見渡す限り野原や畑の中に高い2本の杉の木があり、南ノ目館跡の目印となった。また練兵場、現在の育英高校

の辺りは塹

塚が掘ら

れ、演習が

行われてい

た。塹塚の

周りには

土筆つしやク

ローバーの

花が咲き、

女の子は花

の首輪を作

ったり、男の子は兵隊ゴッコ等

をして遊んだ。「カクレンボ」

で飛びこんだ塚には干からびた

糞があり、慌てて逃げだしたり

懐かしい思い出である。平坦な

野原では餓兵式があり、小学校

で引率されて見に行った。シェ

パード犬や、軍用鳩も籠に入れ

られて兵隊につきそわれ行進、

当時の情勢から偉いと感じたも

のである。



永野邸の乳銀杏 (大正時代)

## 乳銀杏

野守屋敷の銀杏の樹下に小祠

がある。祭神は姥神という。

「奥州名所図会」には「この屋敷に銀杏の大樹ありて乳の如く大なる瘤がある。この樹繁茂し、瘤の垂れたること数十、幹大なるものは丈(3m)に余り、小なるもの5〜6尺(1・5m)また3尺ばかり。婦女の乳の乏しいもの、この姥神の祠に祈る時は験があり、常に詣でる人が多い」(奥州名所図会)とある。安永3年(1774年)

にかかれた風土記によると、生巢原屋敷勘四郎は先祖代々藩主